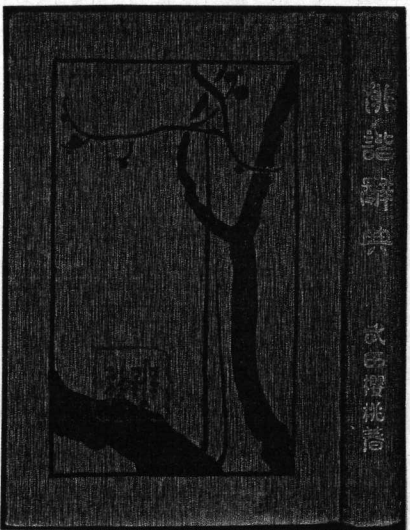


武田鸞塘 ハネウヲ 俳人、小説家。明治四年十月十日東京生まれ、昭和十年五月二十一日歿（八七—一九三三）。本名櫻桃四郎。筆名あつたう、おと坊、修古、修古庵、四郎、夢の舎主人、思梳房、思梳房主人、櫻桃、櫻桃生、武田櫻桃、無潛莊、鸞塘子、鸞塘生等。（三田英學校等へ學ぶ。明治二十五年山岸荷葉等と雑誌『詞海』を創刊。二十八年博文館へ入り『太陽』、『文藝復興部』、『少年世界』等の編輯に従事。のち大阪毎日新聞社、中外商業新報社等へ勤務。俳句は尾崎紅葉等の紫吟社、秋聲會を経て、大正二年内藤鳴雪、巖谷小波等と南柯吟社を興し、機關誌『南柯』を創刊主宰。

著書『古今名家文選』（武田櫻桃名、編、明治四十一年四月二日博文館『通俗作文全書』）、『俳諧辭典』（同、明治四十一年二月十三日ハム文書院）、『俳諧新派と舊派—附俳諧史』（同、明治四十一年十一月二十日ハム文書院。附録『櫻桃白句集』）、『結婚の枝折』（同、明治四十一年七月十一日ニギハヤチ社）、『句評及俳話』（内藤鳴雪共著、大正五年十月二十六日雲泉堂）、『敬家庭お伽夜話』（武田櫻桃名、大正六年十一月二十日精文館書店）、『井伊直弼言行録』（大正七年四月十日東京亞聖書房『修養史傳』）、高松蘭更著『俳諧世説新義』（抄譯、大正十二年十月二十日南柯吟社

出版部）、『笠右新辭典』（武田櫻桃名、編、大正十四年五月一日辰文館）、『味心方俳句の手ほどき』（昭和二年四月十日創文館）、『世蕉奥の細道新解』（昭和二年十月二十日



恒星堂）、『鷺塘集』（昭和六年十月）二十五日南村吟社出版部）、『興

細道新釋』（昭和六年九月）二十日素人社書屋）、『鳴雪俳句研究』

（監輯）昭和九年十一月五日文蘭社）等。